



## CONTENTS 主な内容

やまぐち情報文化都市基本計画  
青少年健全育成強調月間  
上半期財政公表

NOVEMBER  
Communication Paper Yamaguchi



## 第1回

# 文化交流プラザの風景

—やまぐち情報文化都市基本計画—

「(仮称) 文化交流プラザ」の建設が、文化都市基本計画に盛り込まれたこと、また、市内各地に「文化交流プラザ」が建設されること、そして、この「文化交流プラザ」が、市民の生活にどのような影響を与えるのか、また、その建設が、市内各地にどのような影響を与えるのか、また、その建設が、市内各地にどのような影響を与えるのか、

## 求められるまちの活力

21世紀の幕開けを迎えようとしている今、日本は大きな転換期にあるといわれています。山口市においても少子化や高齢化が進む中で「魅力ある中核都市づくり」を進めています。そうした中で、20年30年先の市の将来を見つめたときに今取り組まなければならないことは「活力のあるまちづくり」です。

やまぐち情報文化都市基本計画は、元気なまちづくりに向けた起爆剤です。

## キーワードは「交流」

まちが元気になるための大きな活力源は「交流」です。まちにはいろいろな面でたくさんの方々の交流が行なわれています。人と人、人と企業、人と学校、企業と企業…。それらの交流が活発になればなるほどそのまちは活性化し、元気になるていきます。まちは「交流の舞台」といわれるように、交流なくしては都市そのものの存在が危

# 21世紀へ向けて元気なまちづくりのための計画

ぐされます。

## 「情報」と「文化」が

なければ交流は生まれません。

まちに元気をもたらすためには、これからはまちが価値のある「情報」と魅力的な「文化」を持つていくことがたいへん重要であると考えています。

これからは高度情報化時代。魅力的な文化のあるところに人が集まり、価値のある情報の集まる場所に、人や企業が集まる。そして、人や企業が集まる場所に交流が生まれ、さらに魅力的な新しい文化と産業が生まれる。このように、価値のある「情報」と魅力的な「文化」を持つていくかが都市の盛衰にも関わってくることとなります。21世紀を生きる私たち市民にとっても、活力のあるまちになることは楽しさやおもしろさ、快適さなどに満ちあふれた明るい生活を送ることにつながります。

# 「情報と文化の港」をつくる

## 中園町一帯を交流拠点に

やまぐち情報文化都市基本計画は、中園町一帯29ヘクタールに価値のある情報や魅力的な文化を「集め」「蓄え」「交流し」「加工し」「つくり」「発信する」場をつくつ

ていこうとするものです。それは、いわば、たくさんのモノや人、情報があつまり、活気があふれる「港」であるといえるでしょう。この計画に基づくやまぐち情報文化都市づくりは、いわば「交流

の仕掛けづくり」を行っていくものと云えます。(図1参照)

「港」に集まる様々な荷物(情報)を拠点施設を中心としたネットワークの中で創り、加工し、蓄積していくもので、内外に通用する文化や産業にしていくものです。

## 計画の拠点となる

### (仮称)文化交流プラザ

この計画は、昭和63年以来県と市により共同で策定してきたもので、平成4年に基本計画原案を全

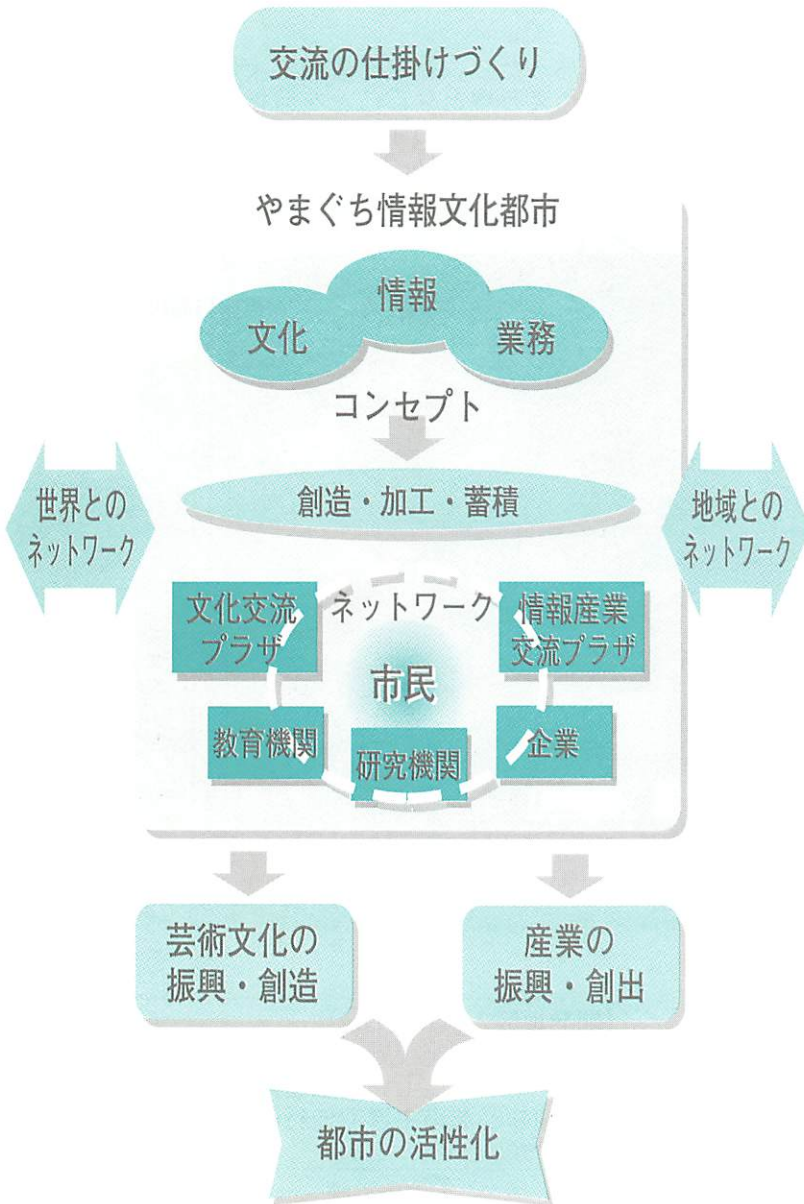
戸配布して市民の皆さんのご意見をいただき、平成5年に基本計画として決定しました。(5ページ参照)  
この計画では、計画地内を3つの地区に分けて、それぞれ役割を分担しています。(4ページ参照)  
開発地区Iには、芸術文化の拠点として(仮称)文化交流プラザ、中央公園、図書館を市が整備することになっています。

開発地区IIには、県内の情報化の中核であり、情報と産業の拠点として(仮称)情報・産業交流プラザが県主導で整備されます。  
誘導地区は、民間の企業が進出する業務ゾーンとしています。

(仮称)文化交流プラザはこの計画区域29ヘクタール全体にとつての「シンボル」そして「交流の核」と呼べる拠点で、市民、行政、企業、教育・研究機関等のネットワークを生かし、「やまぐち情報文化都市づくり」をリードしていく施設として位置づけています。

次回12月1日号は(仮称)文化交流プラザのもつ役割、内容について紹介します。

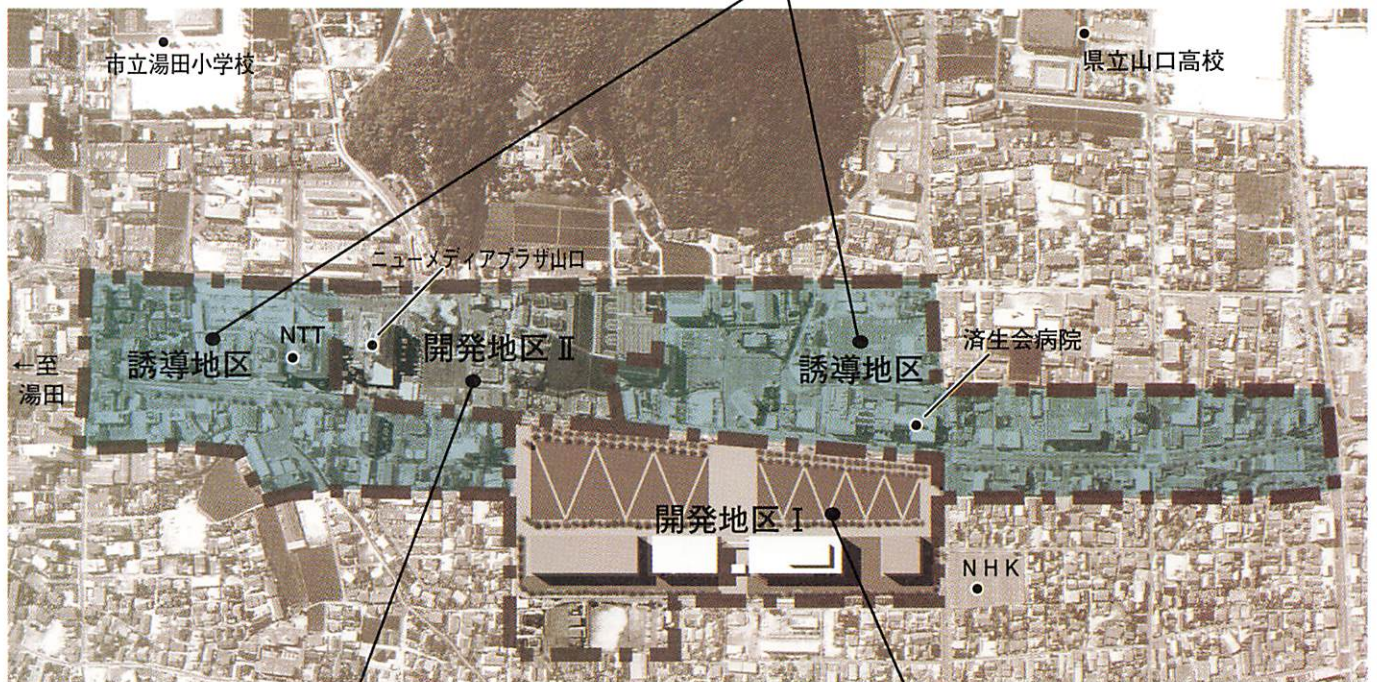
図1 やまぐち情報文化都市づくりの概念図



# 中園町一帯は このようになります

## 【誘導地区】 (約16ha)

民間企業に進出してもらったり、産業育成策により情報ベンチャー産業などの芽生える場となることを目指した民間主導の区域です。そして、それらの産業を取り巻く、例えばレストランやショップ、ギャラリーといった店の進出により、人々が行き交いにぎわうまちになります。



## 【開発地区Ⅱ】 (約4ha)

情報の拠点施設である(仮称)情報・産業交流プラザを中心として、県主導で事業を実施する区域です。開発地区Ⅰに続いて実施します。

## 【開発地区Ⅰ】 (約9ha)

文化の拠点施設である(仮称)文化交流プラザを中心として、周辺道路、中央公園、市営住宅などを市主導で先行的に整備していく区域です。

市が主導で整備を進める開発地区Ⅰの整備費については、(仮称)文化交流プラザが70億円、中央公園が14億円、図書館が20億円、市営住宅が30億円、周辺道路などの基盤整備が17億円の合計で約150億円を見込んでいますが、例えばプラザの70億円のうち約30億円については、国から支援されます。市の財政状況は、現在の社会経済情勢と同様にとても厳しい状況ではありますが、情報文化都市づくりは、将来の山口市の姿を描くうえで是非必要な政策と位置づけています。そのため、財政運営の効率化を目指して昨年度策定した「財政運営健全化計画」においても、この事業への投資を考慮しており、今後とも財源の効率的・重点的な配分、適切な事業選択を行い、財政運営に支障をきたすことのないように進めていきます。

## Q

事業全体の整備費はいくらなのですか。市の財政はだいじょうぶなのですか

「やまぐち情報文化都市づくり」これまでの経緯

年 月	内 容
昭和63年度	県と市が共同で情報機能ゾーン形成に関する調査を実施
平成元年6月	「第四次山口市総合計画」に交流機能の拡充として情報拠点づくりなどを位置づける
平成2年11月	県と市による「やまぐち情報文化都市づくり会議」設立
平成3年11月	第1回やまぐち情報文化都市基本計画策定委員会開催（計3回開催）
平成4年5月	やまぐち情報文化都市基本計画原案策定
6月	市議会に「やまぐち情報文化都市づくり特別委員会」設置
7月	市内全戸に基本計画原案配布（以後4回地区・地元説明会開催）
平成5年2月	県央部地方拠点都市地域指定。中園町一帯が拠点地区として位置づけられる
4月	やまぐち情報文化都市基本計画策定
10~12月	（仮称）文化交流プラザ整備等に関する高校生・市民アンケート実施
平成6年7月	県央部地方拠点都市整備計画を県が承認
12月	（仮称）文化交流プラザ基本構想策定
平成7年5~6月	プラザに関する市民懇談会開催
平成8年1月	（仮称）文化交流プラザ基本計画策定委員会開催（計3回開催）
5月	やまぐち情報文化都市基本計画（フォローアップ調査）と（仮称）文化交流プラザ基本計画策定
11月	（株）磯崎新アトリエを基本設計業者として決定
平成10年5月	（仮称）文化交流プラザ基本設計発表
9月	（仮称）文化交流プラザソフト研究会発足

インターネットでも  
ご覧になれます

今回からはじまる「シリーズ（仮称）文化交流プラザ」は山口市のホームページでも公開していく予定です。現在進行中のソフト研究会の検討内容や去る5月に発表したプラザの基本設計も公開しています。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.urban.ne.jp/home/city/yama/>

今回特集した「やまぐち情報文化都市づくり事業」に

関しましては、各界各層から実に様々なご意見をいただいております。「できるだけ市民の皆様にオープンにしよう」との一念で進めておりますが、思いを伝えることの大切さ、難しさをつくづく感じております。

「子育てに追われるお母さん」からいただいたお手紙を紹介いたします。

『遊ぶ場のない山口とこれだけ言われているのだから、市民みんなの楽しむ場ができるのだからと思うっていました。ところが、

この基本設計では、とてもみんなが楽しめる場とは言えないのではないのでしょうか。はつきり言っていないので、ガツクリしました。山口が情報文化都市を目指していることなど誰も知らないのが現実ではないのでしょうか。

それならば、市民が情報文化都市なんだと理解でき、それに触れることのできるような施設を造られた方がいいのではないのでしょうか。より良く、



親しみのもてる施設になることを願っています。」

もう一通。インターネットで基本設計をご覧になっての便りです。

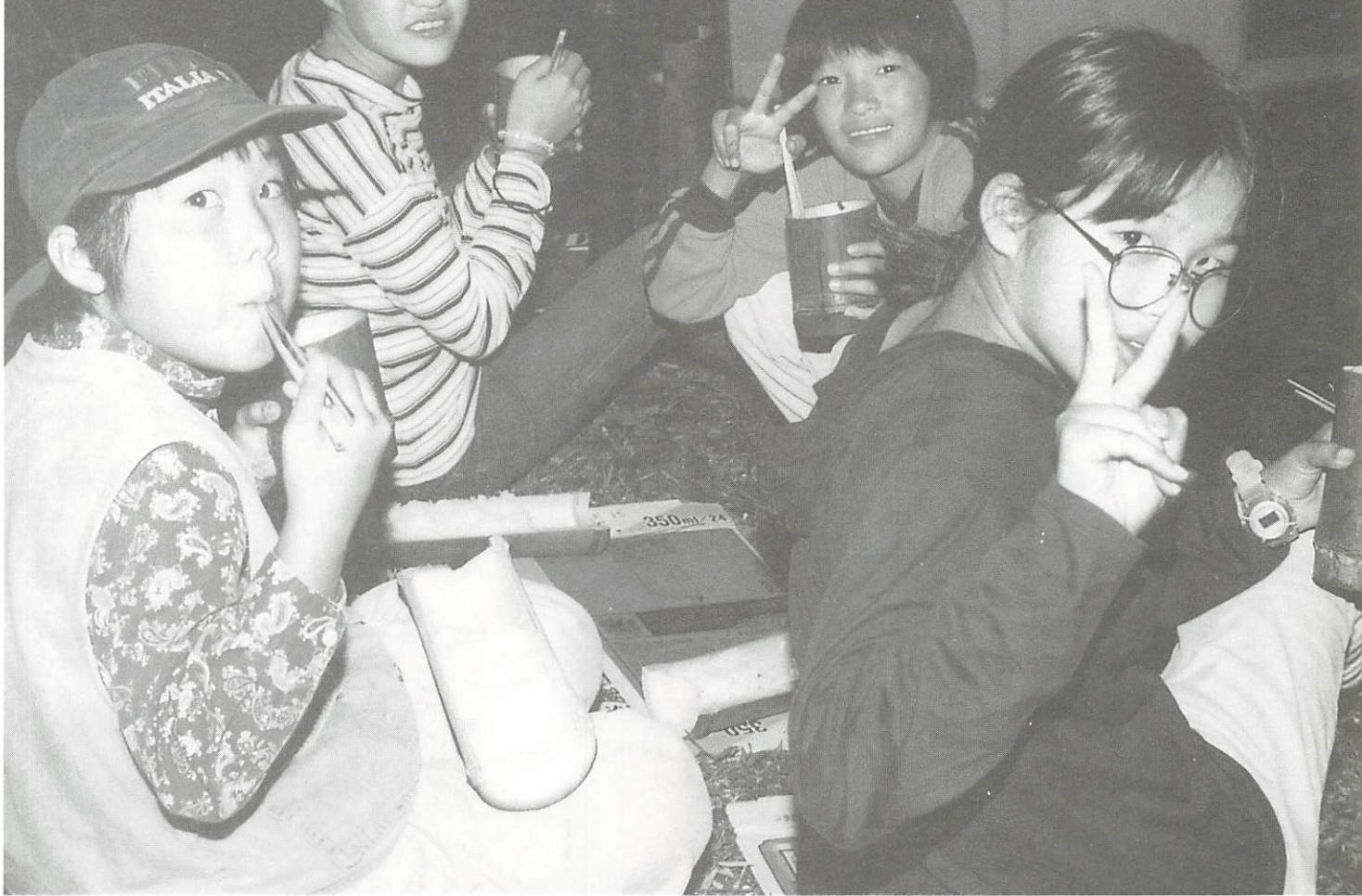
『結婚式の招待を受け1泊2日で主人と湯田に参ります。披露宴の間、一人で過ごさなくてはならないのですが、「こんな施設があったら良かったのに」と率直に感じました。特に、「創る」ことに共感を覚えます。こちらの企画が順調に進ま

れることを期待しております。』  
どちらかというところ、ご意見をいただいたことが、施設そのものが不要、図書館を先にといったご意見も寄せられています。

現実に対処しながら未来を見つめる。地域へのまなざしを大切にしながら世界に開かれた視点をもつ。困難なことですが、21世紀を目前に様々な価値観が交錯する時期、「伝えること、受け止めること」を大切にしながら着実なまちづくりを進める考えであります。ご理解を賜りたいと思います。

# グレードアップだ！ やまぐちッコ

11月は全国青少年健全育成強調月間



青少年が心身ともに健やかに成長するために、家庭・学校・職場・地域社会そして行政が一体となり、青少年を育んでいくことが求められています。そこで総務庁の主唱により11月1日から30日を「全国青少年健全育成強調月間」と定め、さまざまな活動が展開されることになっています。皆さんもこの機会に、家庭・地域の子どもの育成について今一度考えてみられてはどうでしょうか？

山口市では地域の特色や発想を生かした青少年社会参加活動を進め、さらなる青少年健全育成の充実を目指して、「やまぐちッコ！グレードアップ大作戦〜爽・想・創〜」という事業を行っています。この事業は、各地域・各団体の自由な発想による青少年健全育成のための諸活動を市が応援するもので、今年度は大殿、大内、陶、佐山の4地区を指定し、地区ごとに様々な活動を促しています。

10月3日・4日には大殿地区青少年健全育成連絡協議会の主催で「サバイバル・キャンプ」が行われました。これは、子どもたちが地域の自然環境に積極的に関わることで、地区に対する「関心と思い」を持った、自立した子どもの育成を目的とするものです。

「やまぐちッコ! グレードアップ大作戦〜爽・想・創〜」

## サバイバル・キャンプ (10月3・4日 大殿地区)

古熊神社の裏山で行われた「サバイバル・キャンプ」。大殿地区の子どもたち90人はダンボールやゴミ袋を利用して基地(寝床)を作り、一晩野宿をしました。使い慣れない小刀を片手に食器を作るのに一苦労したり、想像以上の夜の寒さに驚いたり大変な様子でしたが、貴重な体験をした1泊2日だったようです。



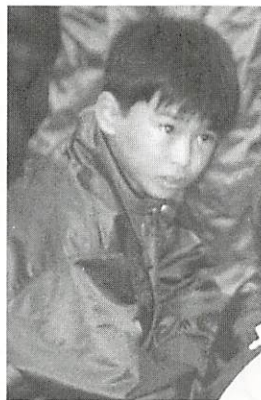
▲あつたかくておいしい!



▲「基地」づくりはたいへんだ



▲そこ、持っといて!



▲寒いよ!



▲ガムテープがはりにくいぞ

### キャンプに参加して

野外で寝るのは初めてだったの  
でちよつと不安だったけど、やっ  
てみるとすごく楽しかった。夜、  
とても寒かったのほとんど寝ら  
れなかった。(大殿中1年 黒川  
祐輔くん)

夜、みんなで「かくれんぼ」や  
「警ドロ」をしたのがおもしろかっ  
た。遊んでいたらヘビがいてびっ  
くりした。夜がとても寒かったの  
で、ゴミ袋や新聞を使ってなんと  
かあったかくしようとがんばった  
けど、1時間ぐらいいしかねられな  
かった。(ろ組のみんな)

一段ボールで坂をすべったり、い  
ろんなところに散歩に行ったりし  
て夜が楽しかった。今度サバイバ  
ルキャンプがあつたらまた参加し  
てみたいです。(大殿小4年 長  
尾茉莉子さん、山崎あゆみさん)

自分たちの寝床となる「基地」  
づくりは、組ごとに大変工夫して  
おり、子どもたちもなかなかやる  
もんだと思いました。夏に実施し  
た「川遊び」の時より「肥後の守」  
(小刀)で手を切る子どもも少なな  
ったみたいだし、みんな自然に親  
しんだり、いろんなものを利用し  
たりする知恵を少しずつ身につけ、  
たくましくなっているようです。  
(大殿小PTA 松永光雄さん)

### 市税 Q&A

**Q** 私は現在固定資産税を口座  
振替で全期前納で納めています  
が、来年からは期別納付に変更  
し、金融機関も変えたいので  
すが、どのような手続きをすれば  
よいのでしょうか。

**A** 変更される場合は、いずれ  
の場合でも「口座振替依頼書」  
の提出が必要です。「口座振替

依頼書」は、金融機関及び郵便  
局、または市収納課それぞれの  
窓口にて備え付けてありますので  
通帳と印鑑をご持参の上、手続  
きをしてください。旧口座の停  
止依頼は必要ありません。

なお、口座引き落としまで金  
融機関で1か月、郵便局で2か  
月かかりますので、早めの手続  
きをお願いいたします。

※4月納期の固定資産税は2  
月中に手続きを!  
(問い合わせ 市収納課 ☎ 34  
— 2739 )

# 住まい・まちづくり

## 活動の拠点

### 山口住まい・まちづくりセンターオープン

山口市の住まいやまちづくりの拠点となる「山口住まい・まちづくりセンター」が銭湯小路の舩本邸にオープン、10月10日、セレモニーが行われました。  
センターは、市民の皆さんがまちづくりについて学習し、交流を図る場となります。

#### 住宅やまちづくりについて アドバイス

「山口住まい・まちづくりセンター」は、大正時代に建てられた洋館、舩本邸を改修したもので、市民の方々に住宅やまちづくりについてアドバイスする拠点施設となるものです。またこれから募集する組織の、会員の活動の場ともなります。事業の内容は、具体的には次のようになります。

- 市民グループ、まちづくりグループの交流の拠点に使います。
- 住まいづくり・まちづくりの支援をします。

#### (仮称) 山口住まい・まちづくりセンター 会員募集

- ◇会員 正会員 総会等に参加し、会の方針に意見をのべることができる
- 準会員 センターの行事に参加できる
- 賛助会員 資金的援助をし、センターの行事に参加できる
- ◇年会費 正会員 12,000円
- 準会員 6,000円
- 賛助会員 30,000円 (1口)
- ◇会員になると
  - ・センターが発行する情報誌を送付します。
  - ・センターが開催する見学会、講習会等が会員料金で参加できます。
  - ・センターの研究調査等の活動に会員として参加できます。
- ◇入会するには センターに備え付けの申込用紙に記入し、会費同封の(または振り込み)の上、下記に申し込んでください。  
山口住まい・まちづくりセンター  
〒753-0084 山口市銭湯小路18  
TEL・FAX 34-3515 (火・木・土・日曜日閉館)
- ◇振込先 (普通口座) 山口銀行県庁内支店 6098377 山口まちづくりセンター事務局
- \*どなたでも会員になれます。お申し込みください。

#### より活動の輪を広げるために

- 住まいづくり・まちづくりの情報収集と発信をします。
- 住まいづくり・まちづくりの調査、研究会活動をします。
- 住まいづくり・まちづくりの学習機会の提供をします。
- センターが目的を達成するため必要な事業、運営上必要とする事業をします。

センターでは、市民の皆さんに住まいやまちづくりの学習、交流、会議などに気軽に利用していただき、主催するいろいろな活動にもご参加いただきたいと願っています。

これまで、センターの開設や事業の推進を(社)山口県建築士会に委託してきましたが、これからは多くの市民の方にもご参加いただき、活動を進めていきます。

そのために、センターの核となる運営組織である「(仮称)山口住まい・まちづくりセンター」の会員を広く募集します。住まいやまちづくりに関心のある方々の積極的な参加をお待ちしています。



# 平成10年度上半期 財政公表

市の予算がどのように執行されているかをみなさんにお知らせするため、平成10年度上半期（4月1日～9月30日）の財政状況を公表します。

## 市有財産現在高（9月末現在）

区分	9月末現在高
土地	336万5332.94㎡
建物	31万2249.32㎡
山林	6459.17ha
立木	81万1695㎡
有価証券	9360万円
出資による権利	6億3489万7730円 3104.09㎡
債権	16億9020万8868円
基金	89億4883万5002円
土地	7584.68㎡

## 市債の状況

区分	10年度残高見込
一般会計	437億3826万円
特別会計	271億0450万円
合計	708億4276万円

一般会計の収支状況（9月末現在）【表1】

入			出		
歳入項目	予算現額(万円)	収入済率(%)	歳出項目	予算現額(万円)	執行済率(%)
市税	1,821,452	53.6	議会費	35,673	45.1
地方譲与税	39,500	29.7	総務費	493,321	37.7
利子割交付金	15,000	46.7	民生費	901,477	36.4
地方消費税交付金	144,300	58.4	衛生費	396,701	38.5
ゴルフ場利用税交付金	5,000	35.1	労働費	11,644	53.9
自動車取得税交付金	36,000	26.7	農林水産業費	196,930	16.1
地方交付税	570,000	68.2	商工費	158,138	48.9
分担金および負担金	68,730	39.1	土木費	796,995	12.4
使用料および手数料	54,928	47.6	消防費	125,017	55.3
国庫支出金	362,261	18.3	教育費	658,867	29.8
県支出金	222,440	10.8	災害復旧費	14,610	2.1
財産収入	9,607	22.3	公債費	475,196	47.4
寄附金	1,661	83.0	諸支出金	30,000	100.0
繰入金	120,727	0.4	予備費	7,000	0.0
市債	625,830	1.8			
その他	204,133	24.5			
合計	4,301,569	39.3	合計	4,301,569	33.0

※歳入歳出予算現額には、繰越額2億5,645万円を含んでいます。

特別会計の収支状況（9月末現在・単位：万円）【表2】

会計	予算現額	収入済額	執行済額	執行済率(%)
国民健康保険	763,148	268,986	276,762	36.3
老人保健	1,530,481	582,373	602,475	39.4
同和対策資金貸付	4,088	1,218	927	22.7
下水道	647,862	53,341	186,497	28.8
土地取得	6,279	0	3,044	48.5
駐車場	4,381	2,269	1,592	36.3
農業集落排水	198,050	3,754	33,082	16.7
特別林野	2,673	783	528	19.8
合計	3,156,962	912,724	1,104,907	35.0

※歳入歳出予算現額には、繰越額9,290万円を含んでいます。

◆ **一般会計**  
一般会計は当初41.6億9,000万円です。スタートしましたが、その後10億6,924万円の追加補正などを行い、9月末現在で総額42.7億5,924万円となっています。補正の主な内容は、良城小学校校舎増築に2億9,468万円、佐山住宅建設事業に2億806万円、市街地活性化緊急対策事業に2,500万円、一本松朝倉線街路改築事業に5,000万円などです。

◆ **一般会計**  
9月末現在の一般会計の歳入歳出状況は表1のとおりで、収入済率39.3%、支出済率33.0%となっています。

◆ **一般会計**  
また、上半期に実施または着手した事業のうち、主なものは次のとおりです。

- ・ 学校教育の充実
- ・ 良城小学校校舎増築、大殿小屋内運動場増改築、大内中運動場拡張、名田島小・二島小・興進小共同調理場整備増改築
- ・ 総合体育施設の充実
- ・ やまぐちリフレッシュパーク運動場などの整備
- ・ 生活基盤の整備
- ・ 生活道路、公園、廃棄物の減量・再利用対策など
- ・ 長寿社会対策、福祉の充実
- ・ 高齢者生きがいセンター整備、ホームヘルプサービス事

◆ **特別会計**  
特別会計の収支状況は表2のとおりです。このうち、下水道事業では、朝倉、平川、大内御堀、宮野、吉敷、大歳の一部を整備しています。また、農業集落排水事業では、仁保、名田島地区について整備を進めています。

◆ **特別会計**  
業、デイサービス事業、ショートステイ事業など

- ・ 農林水産業の振興
- ・ 林道桂ヶ嶽線開設工事、山口漁港海岸保全施設整備、仁保道の駅関連整備事業
- ・ 工業の振興
- ・ 山口物流団地関連事業

11月11日～20日は

同和問題啓発推進強調旬間です

山口県同和問題啓発推進強調旬間にちなんで、市内の中学生にポスターの作品募集を呼び掛けたとこ総数285点の作品が寄せられました。

審査の結果

〔入選〕

- ◇中村 正美さん (潟上中2年)
  - ◇吉武 千佳さん (大内中3年)
  - ◇徳本 洋子さん (大内中2年)
  - ◇田村 裕子さん (大内中2年)
- に決まりました。

〔特選〕内田 舞さん(大内中2年)



特選に決まった内田さんの作品



この作品は、夏休みの課題として仕上げたものです。わたしたちの住む時代が、みんな幸せであるようにとの願いを込めました。特に、背景に世界の人の輪とハトを入れて、平和を強調しました。

山口市教育委員会

森田常一氏が教育委員長に就任

10月8日、山口市教育委員会(臨時会)が開催され、森田常一委員が教育委員長に選出され、また伊藤美代子委員が再任されました。



森田常一  
教育委員長

山口市教育委員会	
委員長	森田 常一
委員長職務代理	光永 惇
委員	真庭 宗雄
委員	伊藤 美代子
教育長	井上 洋

山口市教育委員になり、12月で4年目になります。3年前を思い起こし、また新たな気持ちで頑張りたいと思っています。

先日、動物の子育てから巣立ちまでを放送しているテレビ番組を見ました。親として愛情を注ぐ反面、生存していくための厳しさを教えている姿を見たとき、人間の教育と通じる部分があるような気がしました。

難しい問題が山積している今日、それに対する当面の応急処置で手を打ったとしても何の解決にもなりません。子どもへの愛情を絶やすことなく、先生方やPTAの皆さんとともに地域という大きな器の中で考え、解決していきたいと考えています。



## 電話ガイド やまぐちお茶の間市役所

A子 「24時間年中無休」といえば、すぐに頭に浮かぶのはコンビニ。だけど市役所でもそういうサービスがあるって知ってた?

B子 え、どこに?

A子 それはね、「電話ガイドやまぐちお茶の間市役所」という行政サービスのことなの。案内にしたがって電話番号をプッシュするだけで、いつでも誰でも簡単に市役所のいろいろな情報を知ることができるのよ。

B子 例えばどんなことがわかるの?

A子 出生届や国民年金など、市役所への届出手続きの方法はもちろん、いざというときの救急対応や、施設の利用案内、今週の催しなど、すべて電話で聞くことができるし、FAXを持っていけば書面で取り出すこともできるの。

B子 それは便利よね。それで何番に電話したらいいの?

A子 0120-00-6603よ。フリーダイヤルだから通話時間を気にせずに情報を取り出すことができるのよ。

B子 へーそうなんだ。早速電話かけてみようかな。

電話ガイドやまぐちお茶の間市役所  
フリーダイヤル0120-00-6603

問い合わせ  
市広報広聴課 (☎34-2753)

# 平成10年度 秋季全国火災予防運動

11月9日(月)～15日(日)

## 気をつけて はじめはすべて 小さな火

### 消防演習

◇日時 11月8日(日)  
午前10時から

◇場所 アーク湯田  
(湯田温泉3丁目)



### 防火パレード

◇日時 11月8日(日)午後1時30分～2時30分

◇場所 中市コミュニティホールから山一薬局本店前まで

\*そのほか煙中ハウス体験、大声コンテスト、防火紙芝居を金竜館跡地駐車場でを行います。

## Q & A 保険年金

Q1 国民健康保険に加入していましたが、就職して職場の健康保険に加入しました。国民健康保険に加入しなくてもいいのでしょうか。

○必要なもの 職場の保険証、国民健康保険証、印鑑  
なお、届け出をされないと国民健康保険料の請求がいつまでもあり、知らずに保険料を二重に支払ってしまふことがあります。  
また、職場の保険に加入後も、国民健康保険証が手元にあると、うっかりそれを使って診療を受けてしまうことがあります。このようなときは、国民で負担した医療費を後で返していただくことになります。こういったトラブルを防ぐためにも、届け出はお早めをお願いいたします。

◇問い合わせ  
市保険年金課 (☎34-2801)

# カメラさんぽ



## 山口で映画「故郷」のロケ

マラソンをテーマに日本各地でロケをしているロードムービー「故郷」のロケがサビエル記念聖堂前をはじめ、市内各地で行われました。たくさんの市民エキストラの皆さんは主役の淡島千景さん、今井雅之さん顔負けの名演技でした。(10月8日、9日)



## 緑いっぱい 都市緑化祭

このたび解体される中園町の市民球場で行われた今年の都市緑化祭。せん定実技講習会や苗木の名前当てクイズなど、たくさんの市民の方が緑に囲まれた1日を楽しんでいました。(10月11日)



## 大内氏館跡現地説明会

大内氏館跡第19次発掘調査の現地説明会が行われ、多くの方が熱心に聞き入っていました。今回発掘されたのは館跡指定地の西辺約700㎡で、礎石建物の遺構がはじめて発見されました。(10月18日)



## 山口市出身者からみたまづくりは…

新しい総合計画の参考にするため、以前山口市に住んでおられて、現在広島県在住の皆さんから、外から見た山口市の印象などをお聞きする懇談会を広島市で開催しました。「自然とか歴史とか山口らしさをずっと残してほしい」「山口市と聞いてイメージできるものをもっとアピールしたら」といった様々な意見が出されました。(10月16日)

## 楽しみながら健康に！市民スポーツデー

10月10日は市民スポーツデー。今年も市内のスポーツ施設が無料開放され、多くの方が汗を流していました。リフレッシュパークでは健康診断と新体力テストが行われ、参加者は自分の健康チェックをしていました。





ケーブルテレビで商店街のPR番組に出演されるなど、ご活躍ですね。

あの番組は、商工会議所の事業として放映しているものなんです。商店街活性化委員会に出席したらみんなから推されて出演する

ことになりました。取材企画から原稿執筆まですべて自分でやっているんですよ。

取材してみたいかがですか。

私自身、とっても楽しく勉強になっています。元気なお店というのは、経営者の方の声も顔も元気がいっぱいなんです。そういった元気が伝染していけばいいな、そしてこの番組が伝染していくための潤滑油になればいいな、と取材しながら感じています。

ご自身も商店街でお店を営まれてますが、今の商店街をみていかがですか。

基本的に「商売」なのでお金がからんでくるのは仕方がないんですが、お金にならないけど、大事な何かを考えていく必要があると思っています。そこで、何で私たちは働くのか、という点を考えてみると、私はその根本は人間関係を学ぶためではないかと思っています。良好な人間関係がなければ楽しく生きることができませんからね。この人間関係こそがとても大切。私たちもこうした点を大切にしながら、市民の方々と素敵な関係をつくっていただければと思っています。

そして、商店街らしい「空間」の重要性も感じています。私は山口の商店街は若い方々より、特にシニア層の方々のための対策をもっと重視していく必要があると思っています。シニアの方々が安心してゆったり買い物ができるような素敵な空間が商店街いっぱい広がってほしいですね。

これからどのような活躍をしていきたいですか。

楽しいことが好きなので、この若さを生かして、いろいろなことを提案していくつもりです。そして、新しい空気をたくさん吹き込んでいきたいと思っています。



### 戸井葉子さん

山口市生まれ。福岡で大学生活を送り、卒業後帰郷。現在、西門前商店街でインテリア雑貨「亜呂麻」を両親とともに経営。また、9月から放送されている山口ケーブルビジョンの商店街PR番組「ようこのうっきーショップ情報」(毎日3回、12チャンネルで放送)に出演、人気を集めている。



姉妹・友好都市ホットnews  
～スペイン・パンブ  
ローナ市食事情～



主食はパンで、朝食はクロワッサンや、レーズンやクリームの入ったものです。

昼食は自宅に帰り、3度の食事の中で一番メインとなります。午後2時から3時間、銀行、商店街もシャッターを下げ、ゆっくり休憩時間(シエスタ)を楽しみます。子どもたちの食事情は大人と少し違います。朝食は8時。牛乳とビスケット4、5枚。ハムやチーズをはさんだサンドイッチ風のボカデイーショを持って登校し、11時の休憩時間(レクレオ)に食べます。午後2時に昼食。午後6時ごろおやつ。午後9時に夕食。つまり5度食事をします。

外はパリッ、中はフワッとしたパン、「チャパタ」がおすすめです。



情報提供はパンブローナ市役所マリア市長秘書室長さんでした。

### 中小企業年末資金融資

- ◇使途 運転資金
- ◇限度額 1企業5百万円以内
- ◇融資期間 5か月以内
- ◇返済方法 一括返済
- ◇融資利率 2.2%
- ◇取扱期間 12月30日まで
- ◇申し込み 山口信用金庫・山口銀行・吉南信用金庫・西京銀行・広島総合銀行・西日本銀行・第一勧業銀行・津和野信用金庫
- ◇問い合わせ 市商工観光課（☎34-2809）

### 山口県地方分権推進フォーラム開催

- ◇日時 11月11日（水）午後1時30分～4時30分
- ◇場所 県総合保健会館多目的ホール（吉敷）
- ◇講演 「住民の目に見える地方分権を」 地方分権推進委員会委員長代理 堀江湛氏
- 「暮らしの中の地方分権」（仮題）「広告批評」編集長 島森

路子氏

◇入場料 無料

◇問い合わせ 県企画課（☎33-2516）

NPPOが時代を創る

### NPPO法人設立説明会

- ◇日時 11月8日（日）午後1時から
- ◇場所 県立山口図書館レクチャールーム（後河原）
- ◇内容 講演 広島NPPOセンター 安藤周治理事、説明会：県内だけに事務所を設置している団体が法人格を取得しようとする場合の手続きなどについて
- ◇問い合わせ 県県民生活課県民活動推進室（☎33-2614）

### 第7回山口矯正展

「つなげよう未来へ 明るい社会へ」

毎年山口県体育館で開催していましたが、より広範囲な地域社会の方々に理解、協力していただくため、今年は阿知須で開催いたします。

- ◇期日 11月14日（土）15日（日）両日とも
- ◇時間 午前10時～午後8時
- ◇場所 サンパークあじす（阿知須町4825-1）
- ◇主な内容 バザーコーナー、刑

## 第27回前期山口市民文化祭

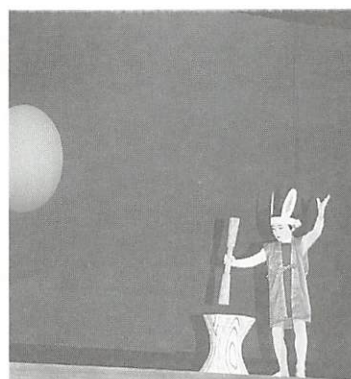
- ◇期日 11月7日（土）8日（日）
- ◇場所 山口市民会館

### 【小ホール・展示ホール・大ホールロビー】

- 7日 10：00～17：00（お茶席は16：00まで）
- 8日 10：00～16：00
- \*展示（無料）…華道・写真・書道・俳画・絵画・染色・盆栽・園芸
- \*お茶席（茶券300円）…煎茶席・抹茶席

### 【大ホール】

- 7日 13：00～14：30 邦楽（尺八・箏曲）
- 14：30～16：30 詩吟
- 18：30～20：30 太鼓・民踊・マジック・腹話術・新舞・民謡
- （いずれも無料）
- 8日 10：30～16：00 日本舞踊・長唄
- （入場料500円）



▲昨年の市民文化祭

- ◆ 務作業製品の展示・即売コーナー、少年の非行問題等についての教育相談コーナー、受刑者の短歌・習字等の文芸作品展・モニターなど
- ◆ 問い合わせ 山口刑務所 (☎22-1452)

### 緑化教室(生垣の維持管理) 参加者募集

- ◆ 日時 11月14日(土) 午後1時～4時
- ◆ 場所 野外音楽堂(維新百年記念公園内)
- ◆ 講師 (財)日本造園修景協会 山口県支部長 椿泰秀氏
- 山口市造園協会会長 岡本薫氏 外3人
- ◆ 募集人員 50人(定員になり次第締め切り)
- ◆ 参加料 500円
- ◆ 持参品 せん定ばさみ
- ◆ 申し込み 11月11日(水)までに(財)山口県公園協会(☎22-2754)へ

市報10月1日号15ページに掲載しました「平成10年度交通安全ポスター入賞者名簿」に誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

○吉屋 瞳↓古屋 瞳

### クマに注意!

10月19日、仁保地区で男性がクマに襲われる事故が起きました。今年は、吉敷、鑄銭司のほか各地で多くの目撃情報が寄せられています。山に入るときは次のことに注意してください。

- ・一人で山に入らない
- ・ラジオ、鈴等音の出るものを身につける
- ・出会ったら刺激しないように落ち着いて行動する
- ◆ 問い合わせ 市環境保全課(☎34-2777)

## 交通事故抑止緊急対策

ストップ・ザ・交通事故

30日キャンペーン

11月1日～30日

### 重点目標

- 高齢者の事故防止  
\* 高齢者の死亡事故多発中です。
- シートベルトの着用



読書の秋、嘉川地区で本を通じて素敵な活動をされている人たちに会いました。「嘉川公民館読書クラブ」のみなさんです。嘉川文化祭に向け準備中のみなさんにお話をうかがいました。

「どんな活動をされているのですか。」

はじめは読書会から始まったんですが、本の講習会などに参加したりする中から、子どもたちだけに読みかかせたり、自分たちだけのオリジナルの本を作ったりするようにになりました。それから公民館の図書室の運営ボランティアもやるようになったんです。今では牛乳パックでハガキやしおりを作ったりと活動の幅もずいぶん広がりました。みんなのアイデア、それぞれの良いところを生かした活動をしています。

「オリジナルの本づくりがおもしろそうですね。」

自分たちだけの、世界にたった1つしかない本ですからね。ストーリーを考えたり、絵を描いたり、作製したりと、作る



## 嘉川公民館読書クラブ

昭和63年発足。現在、会員数は18名。

本を読むだけでなく、子どもたちへの読みかせ、オリジナル本の制作、公民館図書室の運営ボランティアなど、さまざまな活動に取り組んでおられます。

「これはどのような活動をしたいのですか。」

今年が活動10周年にあたるので、11月3日の嘉川地区の文化祭で読書クラブの「10年の歩み展」をやるうとしていんです。また、将来的には本だけにとどまらない「嘉川の文化の発信地」となるように、いっそう幅広い活動を続けたいと思っています。

おさかなっつ



おさかなっつ

エネルギー241kcal たんぱく質15.7g  
(1人分)

材料 (4人分)

まぐろ (角切り)	200 g
しょうゆ	小さじ1/2
おろししょうが	少々
でんぷん	20 g
揚げ油	適量
ベーコン	50 g
たまねぎ	75 g
ねぎ	25 g
にんにく	5 g
カシューナッツ	25 g
マーガリン	5 g
チキンスープ	50cc
しょうゆ	小さじ2
豆板醤	少々
A トマトケチャップ	小さじ2
オイスターソース	小さじ2
グリーンピース	15 g
でんぷん	10 g

作り方

- ①まぐろにしょうゆとおろししょうがで下味をつけ、でんぷんをまぶして揚げる。
- ②Aを混ぜ合わせておく。
- ③ベーコン、にんにく、たまねぎ、ねぎをみじん切りにし、マーガリンで炒め、さらにカシューナッツを加える。
- ④③に②を流し入れ、よく混ぜ合わせる。
- ⑤出来上がり直前に①を加える。

まぐろを角切りにして油で揚げたものを香味野菜たっぷりの中華味のソースでからめます。火を通したまぐろやかシューナッツなどの種実類はかみごたえがあるので、よくかんで食べなければなりません。

子どもたちの好む料理は口当

たりがよく、あまりかまなくてすむものが多いようです。しかし、かむことによって次のような効用があります。

- ① 消化を助ける
- ② あごが発達し歯並びがよくなる
- ③ 歯の病気を予防する
- ④ 脳を刺激する
- ⑤ 食べ過ぎを防ぐ

しっかりとかむことによって、様々な効用がありますので、ご家庭でもぜひかみごたえのある料理を取り入れてみてください。

大殿中学校栄養士

松崎裕子



ピリカラでおいしい。

(大殿中学校3年4組のみなさん)

編集後記

▽子どもの写真を撮るのに望遠レンズを持っていくあたり、まだまだ未熟者です(〇)▽季節はずれの超大型台風接近の予報に誰もが口にした台風19号のつめあと(↑)▽文章を書くのが大の苦手。いつも「つづり方」ならぬ「あづり方」で苦心さんたん(↑)▽食欲の秋。おなかのせい肉が気になる今日この頃(ふ)▽ぜい肉よりぜいたくが気になる秋の風(ノ)▽急速な気温変化により、私のタンスは夏服と秋服が仲良く共存(千)

表紙写真説明

10月10日、一の坂川一帯で開かれたアートふる山口。アートワークショップ1998に参加した武田三鈴さん(写真右)・大夢くん姉弟は、大きな白い紙に両親の影を書いて切り抜き、会場の壁に張る、大作づくりに挑戦しました。

